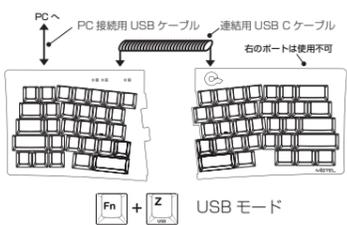


キーボードの準備 (有線接続 / USB モード)

■ 左右連結で使用する場合 / USB 接続で使用する場合

- 付属の連結用 USB-C ケーブルで左右のキーボードを接続します。
- USB 接続でパソコンと使用する場合は、付属の PC 接続用 USB ケーブルの USB-C コネクタを左キーボード (親機) の USB-C ポートに接続し、USB-A コネクタをパソコンの USB ポートに接続してください。
- LED [B] が 1 回点滅 (青色) するまで約 3 秒ほど [FN] キー + [Z] キーを同時に押して USB 接続モードを起動します。

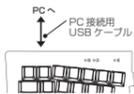


△注意 左右のキーボードが連結用 USB-C ケーブルで接続されている場合、右キーボードに PC 接続用 USB ケーブルを接続すると左キーボードが使用できなくなりますのでご注意ください。

左右個別に使用する場合

本製品は左右のキーボードを単体で使うことができます。左右個別で使用する場合は、PC 接続用 USB ケーブルの USB-C コネクタをキーボードの USB-C ポートに接続してください。

- 右キーボードでは充電可能です。
- 左キーボードのみ使用する場合、無線機能は使えません。



キーボードの準備 (無線接続 / Bluetooth モード)

■ キーボードを充電する

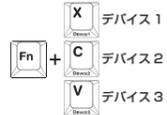
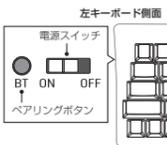
無線モードで使用する際は、PC 接続用 USB ケーブルの USB-C コネクタを左キーボードの USB-C ポートに接続して、USB-A コネクタを USB 給電機器に接続してください。

完全充電まで: 約 3.5 時間 (※本製品は急速充電には対応していません。)

■ 機器の登録 (ペアリング)

- 付属の連結用 USB-C ケーブルで左右のキーボードを接続します。
- 左キーボード側面の電源スイッチ (スライドスイッチ ※) を ON にします。
- 本製品は 3 つのデバイスチャンネルを使用して、3 台の機器とペアリングすることが可能です。下記の操作でデバイスとペアリングするデバイスチャンネルを選択します。LED [B] が 1 回点滅 (青色) するまで約 3 秒ほど下記のキーを同時に押します。

デバイスチャンネル	切替操作
デバイス 1 (MISTEL-1)	[FN] キー + [X] キー
デバイス 2 (MISTEL-2)	[FN] キー + [C] キー
デバイス 3 (MISTEL-3)	[FN] キー + [V] キー



- LED [B] が 1 回点滅 (青色) するまで約 2 秒ほどペアリングボタンを押すとペアリングを開始します。引き続き、接続先のデバイスで Bluetooth デバイスの検索を行います。接続先のデバイスで手順 3 で選択したチャンネル (MISTEL ~) を登録してください。ペアリングが完了すると LED [B] が消灯します。

HINT

- 途中パスワードが表示された場合は画面の指示に従って入力してください。
- 正しくペアリングできない、ペアリング後の動作が不安定な場合は、一度デバイスを削除して再度機器の登録を行ってください。
- 同じ PC で異なるデバイスチャンネルをペアリングすることはできません。

■ ペアリング済みの機器で使用する場合 (チャンネルの切り替え)

- 左右のキーボードを連結して電源スイッチ (スライドスイッチ) を ON にします。
- 前述「■機器の登録」の**手順 3**の操作で使用するデバイスチャンネルを選択します。

【FN】キーについて

[FN] キーと特定のキーを同時に押すことで、メディアプレーヤーの操作やキーボードの動作設定、レイヤー切り替えなどが可能です。

例: 電卓を起動する
→ [FN] キー + [Y] キーを同時に押す



BAROCCO MD600 Alpha BT RGB のみ、キーキャップ手前側面に [FN] キーと同時に押しした時に割り当てられる機能が刻印されています。

キー操作	
[1] キー ~ [= (イコール)] キー	→ [F1] キー ~ [F12] キーと同じ動作
[Esc] キー	→ ` (バッククオート)
[Shift] キー + [Esc] キー	→ ~ (チルダ)
[Alt] キー + [Esc] キー	→ [半角/全角] キーと同じ動作
[Q] キー	→ 前のトラック
[W] キー	→ 再生 / 一時停止
[E] キー	→ 次のトラック
[, (カンマ)] キー	→ 音量上げる
[. (ピリオド)] キー	→ 音量下げる
[/ (スラッシュ)] キー	→ ミュート
[P] キー	→ [PrtSc] (PrintScreen) キーと同じ動作
[[(左大括弧)] キー	→ [Scroll Lock] キーと同じ動作
[] (右大括弧)] キー	→ [Pause] キーと同じ動作
[; (セミコロン)] キー	→ [Insert] キーと同じ動作
[H] キー	→ [Home] キーと同じ動作
[N] キー	→ [End] キーと同じ動作
[↑] キー	→ [↑] キーと同じ動作
[J] キー	→ [←] キーと同じ動作
[K] キー	→ [↓] キーと同じ動作
[L] キー	→ [→] キーと同じ動作
[M] キー	→ [APP / Menu] キーと同じ動作
[Y] キー	→ 電卓を起動
[PN] キー	→ 右 [Windows] キーと同じ動作 ※

※ BAROCCO MD600 Alpha BT RGB のみ

【PN】キーについて

BAROCCO MD600 Alpha BT RGB は、右 [Windows] キーが [PN] キーに割り当てられています。本書の記載で「[PN] キー」の記載がある箇所は、右 [Windows] キーを操作してください。

BAROCCO MD600 Alpha BT Rhino には [PN] キーありませんので、右 [Windows] キーはそのまま [Windows] キーとして動作します。BAROCCO MD600 Alpha BT RGB で [PN] キーを右 [Windows] キーとして機能させる際は、[FN] キーと同時押ししてください。

DIP スイッチについて

△注意 DIP スイッチの操作は必ずキーボードの電源をオフにしてパソコンから取り外した状態で行ってください。パソコンに接続したまま操作すると故障の原因になります。

本体底面にある DIP スイッチでは、特定のキーの機能を変更することが可能です。スイッチを上 (オン) にすることで機能が有効になります。DIP2 ~ 4 のスイッチは複数オンにして使用することが可能です。Windows や Mac などご利用の環境に応じて設定を変更してください。

※工場出荷時は全て OFF (スイッチが下) 状態。

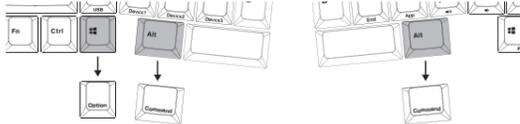
DIP No	DIP スイッチ OFF	DIP スイッチ ON
DIP1	macOS モード 無効 = Windows 用	macOS モード 有効
DIP2	右 [FN] キー	→ [CapsLock] キーとして機能
	[CapsLock] キー	→ 右 [FN] キーとして機能
DIP3	左 [CTRL] キー	→ [CapsLock] キーとして機能
	[CapsLock] キー	→ 左 [CTRL] キーとして機能
DIP4	左 [FN] キー	→ 左 [CTRL] キーとして機能
	左 [CTRL] キー	→ 左 [FN] キーとして機能

macOS モードの動作 (DIP1 が ON の時のキー動作)

MacOS のキーボード配置を再現するためにキーの動作を変更したモードです。

● [Option] キー / [Command] キー機能の追加

左 [Windows] キーと左 [ALT] キーが入れ替わり、[Option] キーと [Command] キーの機能が追加されます。



キー	動作
左 [Windows] キー	→ 左 [Option] キーとして機能
左 [ALT] キー	→ 左 [Command] キーとして機能
右 [ALT] キー	→ 右 [Command] キーとして機能

● マルチメディアキー機能

[FN] キーと [ALT] キーと特定のキーを同時に押すことで下記の操作が可能になります。

例: ディスプレイ輝度を下げる場合 → [FN] + [ALT] + [1] を同時に押す

キー	動作	キー	動作
1	ディスプレイ輝度を下げる *1	7	前のトラックへ *4
2	ディスプレイ輝度を上げる *1	8	トラックの再生 / 一時停止 *4
3	Mission Control	9	次のトラックへ *4
4	Launchpad *2	0	ミュート (消音)
5	本製品の RGB バックライト輝度を下げる *3	- (ハイフン)	音量を下げる
6	本製品の RGB バックライト輝度を上げる *3	= (イコール)	音量を上げる

※ 1: ラップトップ / ノート機種のみ機能します。外付けディスプレイでは動作しません。

※ 2: Launchpad キーとして使用する際は、macOS 側で設定が必要です。

ー設定方法ー

- アップルメニュー → 「システム環境設定」 → 「キーボード」の順に選択します。
- 「キーボードショートカット」 ボタンを押します。
- リストから [Launchpad と Dock] を選択します。
- 右側に表示されたリストの [Launchpad の表示] のチェックボックスをオンにし、右端のキーコンビネーション欄をクリックし、[F4] キーを押して設定してください。

※ 3: 本製品のバックライトがオンの時に動作します。(BAROCCO MD600 Alpha BT RGB のみ)

※ 4: Apple Music などのメディアプレーヤーが起動中の時に動作します。

キーのロック / キーの置き換え / 配列変更

■ 左 [Windows] キーをロック / 解除する

[FN] キー + 左 [Windows] キーを同時に 2 秒程度長押しすると、LED [A] が 1 回点滅 (青色) して、左 [Windows] キーがロックされます。

ロックを解除する場合、再度上記操作を行ってください。

■ 矢印キー置き換え機能

右 [Shift]、右 [Windows] / [PN]、右 [FN]、右 [CTRL] キーを矢印キーとして機能させることができます。

左 [Windows] キーと右 [ALT] キーと右 [スペース] を同時に 2 秒程度長押しすると、LED [A] が 1 回点滅 (青色) してキーの機能が切り替わります。解除する際は再度同じ操作を行います。

※ 矢印キーへ置き換え時 [PN] キーの機能は使用できません。

■ キーボード配列切り替え機能

[FN] キーと [/ (バックスラッシュ)] キーを同時に 2 秒程度長押しする回数に応じて、LED [A] が 1 回点滅 (青色) して下記の通りキーの機能が切り替わります。

初期設定 = 「QWERTY」

1 回押し = 「DVORAK」(x が q として入力されます)

2 回押し = 「COLEMAK」(n が k として入力されます)

マクロ機能 / レイヤーの切り替えについて

マクロ機能とは、任意のキーに任意の動作 (マクロ) を割り当てることができる機能です。

例: [H] キーに [Space] キーの機能を割り当て
→ [H] キーを押した時に [H] が入力されず [Space] キーとして動作します。

マクロ機能では、複数のキーに設定されたマクロセットを 1 レイヤーとしてグループ化でき、仕事やゲームなど用途に応じてキーボードの機能や配列を使い分けすることができます。レイヤーは初期のキーボード配列 (= 初期レイヤー) とは別に最大 3 レイヤー登録することができます。

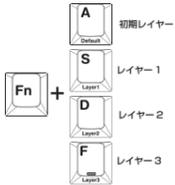
△注意

- 初期レイヤーにはマクロ登録はできません。
- [FN] [PN] 左 [Shift] 右 [CTRL] キーにはマクロ登録できません。

■ レイヤーの切り替え

下記のキー操作でマクロ登録するレイヤーを選択します。

選択レイヤー	切替操作	LED [M] の状態
初期レイヤー	[FN] キー + [A] キー	消灯
レイヤー 1	[FN] キー + [S] キー	赤色 点灯
レイヤー 2	[FN] キー + [D] キー	緑色 点灯
レイヤー 3	[FN] キー + [F] キー	青色 点灯



■ マクロの登録手順

マクロを登録する前に DIP スイッチ を全てオフにしてください。(参照: DIP スイッチについて)

1. マクロを登録するレイヤーを選択する

前述「レイヤーの切り替え」を参照してマクロを登録するレイヤーを選択します。

2. マクロ登録モードを起動する

[FN] キー + 左 [CTRL] キーを押して離す。
→ LED [M] が点灯 (白色) してマクロ登録モードが起動します。

3. マクロを登録するキーを押します

→ LED [M] が点滅 (白色) します。

4. マクロを登録します

登録したい内容 (キー) を押して、最後に [FN] キーと [Tab] キーを同時に一度押すと LED [M] が点灯 (白色) して登録内容が保存されます。

例: [L] キーを押したときに [P] キーとして動作するマクロを登録する場合は、**手順 3** で [L] キーを押して**手順 4** で [P] キーを押します。

5. 手順 3 と手順 4 を繰り返し、その他のキーにも登録します。

6. マクロ登録モードを終了する

全ての登録が完了したら [FN] キー + 左 [CTRL] キーを押して離す → LED [M] が消灯してマクロ登録モードが終了します。

■ 登録済みのキーに別のマクロを登録する方法

手順 3 でマクロを変更したいキーを 2 回押しします。

LED [M] が点滅 (白色) したら**手順 4** に進みマクロを登録してください。

■ 登録されているマクロを消去 (元のキーに戻す) する方法

手順 3 でマクロを消去したいキーを 1 回押しと、マクロが消去され初期状態に戻ります。

手順 6 の操作でマクロ登録モードを終了します。

【FN】 / 【PN】 * キーの位置を変更する (リマップ)

※ BAROCCO MD600 Alpha BT RGB は、右 [Windows] キーが [PN] キーになります。

[FN] キー および [PN] キーを任意のキーに移動 (リマップ) することができます。[FN] キー および [PN] キーのリマップ後は、元の [FN] キーは [APP / Menu] キーとして、元の [PN] キーは右 [Windows] キーとして動作します。

△注意

- 左 [Shift] キーと左 [CTRL] キーの位置にはリマップできません。
- [FN] キーは同じレイヤー内に 2 箇所、[PN] キーは同じレイヤー内に 1 箇所設定可能です。
- [FN] キー や [PN] キーのリマップ先を忘れてしまった場合は、選択中のレイヤーをリセットして、再度リマップしてください。その際、選択中のレイヤーに登録されている全てのマクロ設定もリセットされますのでご注意ください。

■ リマップ手順

リマップする前に DIP スイッチ を全てオフにしてください。(参照: DIP スイッチについて)

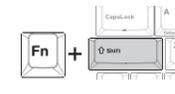
1. リマップするレイヤーを選択する

「マクロ機能 / レイヤーの切り替えについて」を参照して、リマップするレイヤーを選択します。

2. LED [A] が点滅 (白色) するまで [FN] キーと左 [Shift] キーを同時に長押しします。
※ 以降 [PN] キーをリマップする場合は [FN] を [PN] に置き換えてお読みください。

3. [FN] キーを押します。

4. リマップ (移動) 先に設定するキーを押すと、LED [A] が消灯します。



リセット / 工場出荷時の状態に戻す

△注意

- リセット操作の前に「DIP スイッチについて」を参照して DIP スイッチ を全てオフにしてください。
- レイヤーを初期化すると、マクロ設定や [FN] / [PN] キーのリマップ設定、RGB バックライト (※) の設定が全て工場出荷時の状態に戻ります。
- 工場出荷時の状態にリセットしてもペアリング情報は保持されます。

※ BAROCCO MD600 Alpha BT RGB のみ

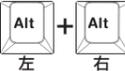
■ 選択中のレイヤーをリセットする (初期レイヤーと同じ配列にする)

- 「マクロ機能 / レイヤーの切り替えについて」を参照して、リセットするレイヤーを選択します。
- 左 [FN] キーと [R] キーを LED [M] 1 回点滅 (白色) するまで、同時に長押しします。LED が消灯したらリセット完了です。



■ 全てのレイヤーを工場出荷時の状態にする

左 [ALT] キーと右 [ALT] キーを LED [M] が 3 回点滅 (白色) するまで、同時に長押しします。LED が消灯したらリセット完了です。



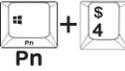
リセット操作後は、本製品の電源をオフにするか本製品を一度パソコンから取り外し再度接続することをお勧めいたします。

RGB バックライトについて (BAROCCO MD600 Alpha BT RGB のみ)

△注意 無線使用時にバックライトを点灯するとバッテリーの消費が増しますのでご注意ください。

[PN] キー (※) と [4] キーを押す毎に、バックライトの発光パターンを下記表の点灯順に切り替えることができます。

※ 右 [Windows] キーが [PN] キーになります。



■ 発光パターンの種類と順番

発光順	発光パターン	カラー調整	スピード調整
1	Wave モード (初期設定)		○ (後述)
2	Rain drop モード		×
3	Reactive モード	×	
4	Ripple モード		○ (後述)
5	Rotating モード		
6	Snake モード		×
7	WASD・矢印/カスタムカラーモード (後述)	×	×
8	無点灯 (バックライト OFF)	-	-
9	全点灯モード	○ (後述)	×
10	Breathing モード		○ (後述)
11	Cycling モード	×	

■ バックライトの操作と設定変更

バックライトの操作と設定変更は [PN] キーと一部のキーを組み合わせて行います。

カラーパレット

[PN] キーと [ESC] キーを同時に押すとカラーパレット表示が表示されます。前述「発光パターンの種類と順番」の「カラー調整」欄が「○」のモードの配色調整時に使用します。

カラー調整

前述「発光パターンの種類と順番」の「カラー調整」欄が「○」のモードの配色調整時に使用します。下記記載の通りキーを 1 回押す毎に RGB の明るさが 1 段階明るくなります。(10 段階)

- [PN] キーと [1] キーを同時に押す = カラー配色調節 (R 赤)
- [PN] キーと [2] キーを同時に押す = カラー配色調節 (G 緑)
- [PN] キーと [3] キーを同時に押す = カラー配色調節 (B 青)

輝度調整 (消灯含む 11 段階)

- [PN] キーと [C] キーを同時に押す毎に輝度が暗くなります。
- [PN] キーと [V] キーを同時に押す毎に輝度が明るくなります。

速度調整 (5 段階)

- [PN] キーと [, (カンマ)] キーを同時に押す毎に変色速度が遅くなります。
- [PN] キーと [. (ピリオド)] キーを同時に押す毎に変色速度が速くなります。

バックライトオフ (消灯)

[PN] キーと [0] キーを同時に押すと 前述「発光パターンの種類と順番」の「8・無点灯 (バックライト OFF)」に切り替わります。

■ カスタムカラーについて

バックライトの配色を調整してレイヤー毎に割り当てたり保存することができます。ここで保存された配色は「7・WASD・矢印/カスタムカラーモード」で使用されます。カスタムカラーモードの初期点灯パターンは、WASD と矢印キーが点灯した状態です。

カスタムカラーの設定方法

- 「マクロ機能 / レイヤーの切り替えについて」を参照して、配色を変更したいレイヤーを選択します。
- [PN] キーと [5] キーを同時に押してカスタムカラー編集モードを起動します。
カラー調整には 2 つの方法があります。
・前述の「カラー調整」を参照して調整したい色 (RGB) を選択する。
・前述の「カラーパレット」を参照して調整したい色 (RGB) を選択する。
- 点灯調整したいキーを押すと**手順 3** で選択した色が登録されます。キーを 1 回押すと選択された配色で点灯します。同じ配色で点灯させたいキーがある場合はそのまま点灯させたいキーを押してください。
配色をやり直す場合は、再度キーを押して消灯状態にするか**手順 3** の手順で再度色を選択した後、配色をやり直したいキーを押してください。
- 配色設定が完了したら [PN] キーと [5] キーを同時に押してカスタムカラー編集モードを終了します。
カスタムカラー編集モードが終了したら自動的にカスタムカラー発光モードになり、配色設定に従ってバックライトが点灯します。